

宇治山田高校 同窓会報

Ujiyamada
High school
Alumni association
Journal

2010/3/1

No.

27

発行所：山高同窓会
発行人：池田六太郎
編集人：越山 初生
印刷所：文化印刷(有)

築き上げた歴史と伝統

そして百十一年目――

朝早くから登校した生徒にしか出会えない光景。
吐く息も白む真冬の朝、午前7時50分。
山高正門前の大時計は朝日を浴びて黄金色に輝きます。



記念モニュメント除幕式

山高の歴史と伝統を後世に伝える
モニュメントが完成しました。



CONTENTS 目次



同窓会長ごあいさつ.....	02	創立110周年記念事業.....	11
学校長ごあいさつ.....	02	特集記事.....	12
同窓会委員.....	03	同窓会協力金寄付者御芳名.....	14
決算及び予算.....	04	大学入試状況.....	18
事業報告及び事業計画.....	05	献本リスト.....	19
事務局だより.....	05	ホームページは10周年を迎えました！.....	19
支部だより.....	05	平成21年度同窓会総会& 平成22年度同窓会総会のお知らせ.....	20
通信欄.....	07	編集後記.....	20
山高NOW！.....	10		

ごあいさつ



同窓会長
池田 六太郎
(山高19期)

会員の皆様には、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は同窓会活動に格別のご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

母校創立百周年記念事業も、皆様方のご支援ご協力により、成功裡に行うことができました。

八月の創立百周年記念総会、懇親会も多数の会員皆様方のご参加により創立百周年記念に相応しい催しとなりました。特に小阪憲司氏(山高10期)の記念講演「認知症をめぐって」テレビ小体型認知症を含めて「」が、地元ケーブルテレビ局の一時番組組として放映され、山高のPRはもとより、地域医療への一助となりました。

十月には表紙に掲載されております山中・山女の校門及び山中寄宿舎煙突のレンガを使用したモニユメント等の整備を行いました。この施設は、在校生に母校の歴史と伝統を次の百年に繋げるための確認の場所としていただければと思います。

完成式の後、在校生を対象とした創立百周年記念教育講演会が藤田紘一郎氏(山高10期)を講師に迎え

魅力ある授業を展開し、ホームルーム活動や部活動を通して「人間力」を育成することに重点的に取り組んでいます。いくつか特に印象に残った出来事を紹介します。

部活動においては、陸上競技部では、男子400mリレーで全国高校総合体育大会(インターハイ)出場、また牧美佳さんが七種競技で日本ジュニア・ユース選手権大会出場を果し、写真部では河寄悠里さんが全国高校総合文化祭で最優秀賞(文部科学大臣賞)を受賞するなど、大きな成果を収めました。これらの部活動では、顧問の熱心な指導のもと、生徒が自主的かつ意欲的に毎日の練習に取り組んでおり、生徒は人間的にも大きな成長を遂げています。

あと一つは合唱祭に関わることです。本校の伝統行事でもある合唱祭に向け各クラスが随分前から練習に取り組み、12月の本番では素晴らしい合唱の連続となりましたが、インフルエンザのため学級閉鎖となり、当日出場できなかったクラスが、12月末の全校集会での発表を希望し、全校生徒の前で、「ハナミズキ」の見事な合唱を披露しました。クラスの思いを生徒会執行部が受け止め、全校集会でのサプライズとなったわけですが、建学の精神がここに息づいてると実感しました。

今後とも、生徒、教職員双方が満足感あふれる学校づくりを目指し取り組んでまいりますので、同窓生の皆様には暖かいご配慮を賜りますようお願いいたします。

盛大に開催されました。今回の記念会報の発行が最後の事業であります。創立百周年記念事業につきましても、母校の教職員の方々をはじめ、会員のご支援ご協力をいただきました。紙面をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

同窓会の目的は「会員相互の親睦と母校に対する支援」であります。今後ともその目的のため活動が続いてまいりますので、皆様方のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

山高同窓会の皆様へ



学校長
中谷 文弘

会員の皆様には、本校の教育活動にご支援、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。平成21年4月に着任して以降、本部の総会をはじめ、名古屋、東京及び大阪の各支部並びに高倉の総会や懇親会に出席し、多くの同窓生の皆様方との交流を通して、親睦を深めることができました。そこでは、年齢を感じさせないパワーや、母校にかける熱い思いに触れ、まだまだ若輩の私にとっては、胸引き締まる思いで、伝

統校復活に向けあらたな意欲をかき立てられています。平成21年度は、創立百周年記念事業や広島国泰寺高校硬式野球部OBとの交流など、数多くの行事やイベントがあり、在校生にとっても、伝統の重みをずっしりと感じたことと思います。記念事業の一環として開催された講演会では、「共生の意匠論」きらい社会の落とし穴」と題して、東京医科大学名誉教授の藤田紘一郎先生にお話をいただいたが、ユーモアを交えながらも格調高い講演は、生徒に多大な感銘を与えていただきました。また、国泰寺高校野球部OBとの交流が契機となったのか、夏の甲子園では、本校野球部主将が先導役を務めることとなりました。開会式当日は、私も野球部OBの方々とともにスタンドから観戦し、国泰寺高校(旧制広島中学校)同窓生の方々と交流することができました。野球部主将高橋君の堂々とした見事な行進ぶりには、多くの方々から賞賛をいただきました。

さて、学校の近況ですが、知性・気品・伝統をコンセプトとした新しい制服を導入し、この4月からは、全学年が着用することとなります。前身校の建学の精神「自主自律」「気高き品性」を継承しながら、新しい山高の創造に向け、活力ある学校づくりに取り組みしています。また、子どもたちの進路希望の実現に向け、教職員が一丸となつてきめ細やかな指導を行っていますが、とりわけ、

同窓会委員

本部役員		顧問・校長	
会長	池田 六太郎	顧問・校長	中谷 文弘
副会長	藤原 敏夫	顧問・教頭	増田 憲一
副会長	奥村 操子	顧問・事務長	工藤 好洋
副会長	野田 昌和		
副会長	牛場 まり子		
副会長	橋本 久俊		
副会長	鈴木 芳蔵		
副会長	中西 衛三		
副会長	谷崎 健治		
副会長	北川 良子		
副会長	中沢 純子		
副会長	金児 毅		
副会長	井村 郁子		
副会長	寺田 直喜		
副会長	越山 初生		
副会長	田岡 貞美		
副会長	古野 潔		
副会長	中川 正美		
副会長	南 誠一		
副会長	安田 千代		
副会長	中川 卓郎		
副会長	羽根 一幸		
副会長	福田 洋子		
副会長	田ヶ原 博史		
副会長	岩崎 良文		
副会長	稲垣 真		

支所役員		支所役員	
東京支所 支所長	大西 章夫	大阪支所 支所長	藤本 芳枝
大阪支所 支所長	早川 仁也	名古屋支所 支所長	石丸 典生
名古屋支所 支所長	鈴木 一暢	北勢支所 支所長	大西 和雄
北勢支所 支所長	江崎 隆夫	事務局長	齋藤 友彦
事務局長	鳥羽 真人	理事	藤村 喜成
理事	藤原 信一	理事	山下 智史
理事	坂田 恵	理事	石川 雄一朗
理事	上之郷 賢二	理事	中村 美代子
理事	奥野 幸良	理事	牧田 平
理事	森岡 義博	理事	小山 澄人
理事	廣山 晶彦	理事	竹内 幸弘
理事	奥山 元彦	理事	泉 浩之
理事	西根 輝男	理事	澤田 真明
理事	中西 泰徳	理事	浅井 裕司
理事	永木 志伸	理事	永木 志伸

事業報告及び事業計画

平成20年度事業報告

平成20年	7月7日	正副会長会議
7月11日	役員会(総会提出議題について)	
7月22日	情報委員会	
7月25日	総務委員会	
8月10日	定期総会	
8月27日	正副会長会議	
9月22日	正副会長会議	
9月25日	総務委員会	
10月9日	情報委員会	
10月19日	北勢支部総会	
10月29日	会報委員会	
11月4日	松南同窓会総会	
11月8日	情報委員会	
11月20日	情報委員会	
11月25日	会報編集委員会	
12月3日	情報委員会	
平成21年	1月23日	情報委員会
1月23日	会報校正	
1月27日	情報委員会	
2月19日	会報校正	
2月19日	正副会長会議	
2月27日	情報委員会	
3月1日	会報発行	
3月1日	同窓会入会式(卒業式直後)	
4月14日	情報委員会	
4月19日	名古屋支部総会	
4月27日	総務委員会	
5月22日	総務委員会	

平成21年度事業計画

6月7日 東京支部総会
6月15日 情報委員会
6月22日 総務委員会

平成21年度事業計画

平成21年

7月1日 情報委員会
7月4日 会計監査
7月7日 正副会長会議
7月10日 役員会(総会提出議題について)
7月23日 総務委員会
7月29日 情報委員会
8月9日 定期総会
10月7日 教育講演会

(伊勢市観光文化会館)
松南同窓会総会
11月4日

平成22年

1月18日 正副会長会議
3月1日 同窓会入会式
3月1日 会報発行

※本会運営のために正副会長会議など
を必要に応じて行います。

※支部総会が開催される場合は本部
より出席します。

事務局だより

21年3月末をもって同窓会活動に
尽力された東原清先生(数学、高
42)が朝明高校へ転出されました。

また、長きにわたり事務局業務を
担当の倉井淳子さん(高23)が、21
年10月をもって家事のご都合により
お辞めになり、新たに西川智恵さん

事務局だより

21年3月末をもって同窓会活動に尽力された東原清先生(数学、高42)が朝明高校へ転出されました。また、長きにわたり事務局業務を担当の倉井淳子さん(高23)が、21年10月をもって家事のご都合によりお辞めになり、新たに西川智恵さん

支部だより

東京支部総会盛大に開催

平成21年度の山高同窓会東京支部総会・懇親会は、6月7日(日)東京プリンスホテル「プロビデンスホール」において、総勢200名を

硬式野球部記念試合

硬式野球部OB会では次の要領でOB並びに現役生徒の記念試合を計画しております。同窓生の皆様にも倉田山野球場に足を運んでいただければ幸いです。

①広島国泰寺とのOB戦	日時	6月26日(土) 9時予定
※雨天の場合は6月27日	場所	伊勢市営倉田山野球場
②西村幸生さん(山中36)	日時	8月15日(日) 10時予定
生誕百年記念試合	場所	伊勢市営倉田山野球場
宇治山田高校 対 京都学園高校	山中・山高硬式野球部OB会	会長 田畑吉春(山高36期)

決算及び予算

平成20年度決算

収入の部

(単位:円)

項目	本年度決算額	予算額	備考
前期繰越金	1,951,766	1,951,766	
入会金	3,090,000	3,130,000	10,000円×309人
預金利子	63,107	10,000	
雑収入	220,000	250,000	親睦会会費、CD売上
募金・協力金	2,819,848	2,300,000	110周年事業募金・会報発行協力金
別途積立金取崩額	0	0	
合計	8,144,721	7,641,766	

支出の部

(単位:円)

項目	本年度決算額	予算額	備考
総会費	865,485	800,000	パーティ経費・招待者案内状
会報発行費	2,947,865	2,900,000	印刷費、発送費
入会式費	141,090	140,000	記念品代
会議費	253,246	300,000	役員会、委員会食事代等
支部・同期会費	501,260	500,000	支部・同期会助成
クラブ補助費	500,000	500,000	母校クラブへ
通信費	37,795	60,000	
消耗費	1,050	80,000	
旅費	145,130	190,000	各支部総会出席
慶弔費	0	70,000	
母校後援事業費	0	100,000	
ホール管理費	300,000	300,000	
インターネット管理費	47,075	60,000	通信代、利用料
給与費	480,000	480,000	
予備費	90,000	500,000	支出は会長の専決事項
次期繰越金	1,834,725	661,766	
合計	8,144,721	7,641,766	

財産目録

	円
1. 第三銀行定期預金	10,000,000
2. 百五銀行定期預金	6,000,000
3. 百五銀行普通預金(インターネット管理用)	0
4. 百五銀行普通預金(協力金用)	0
5. 郵便局普通貯金	1,834,725
6. 振替口座 00870-1-23118	0
7. 振替口座 00800-2-16973	0
8. 現金	0
合計	17,834,725

平成21年度予算

収入の部

(単位:円)

項目	前年度決算額	予算額	備考
前期繰越金	1,951,766	1,834,725	
入会金	3,090,000	3,190,000	10,000円×319人
預金利子	63,107	10,000	
雑収入	220,000	500,000	親睦会会費
協力金	2,819,848	5,000,000	110周年事業募金・会報発行協力金
合計	8,144,721	10,584,725	

支出の部

(単位:円)

項目	前年度決算額	予算額	備考
総会費	865,485	1,400,000	パーティ・招待者案内状
110周年記念事業費	0	2,000,000	
会報発行費	2,947,865	2,900,000	
入会式費	141,090	140,000	記念品代
会議費	253,246	300,000	会議時食事代等
支部・同期会費	501,260	500,000	支部・同期会助成
クラブ補助費	500,000	500,000	母校クラブへ
通信費	37,795	60,000	
消耗費	1,050	80,000	宛名シール他
旅費	145,130	190,000	各支部総会出席
慶弔費	0	70,000	
母校後援事業費	0	100,000	
ホール管理費	300,000	300,000	プラチナホール管理費
インターネット管理費	47,075	60,000	通信代、利用料
給与費	480,000	480,000	
予備費	90,000	500,000	支出は会長の専決事項
次期繰越金	1,834,725	661,766	
合計	8,144,721	10,584,725	

(内別途積立金)	16,000,000)
(次期繰越金)	1,834,725)

百周年別途積立金	
百五銀行定期預金	3,700,000

監査報告

平成20年度(H20.7.1~H21.6.30)の会計について監査を実施したところ、適正に処理されていることを認めます。

平成21年7月4日

会計監査 中村美代子(高23期)
奥野幸良(高30期)

超える同窓生・ご来賓が集い、いつもながら賑やかに開催されました。今回のゲストスピーカーは、石倉勇さん（10期、元三重大学練習船舶長）で、いまや懐かしくなりました。捕鯨を、「記録映画」を交えながら、興味深くお話しいただきました。体験談だけに臨場感があり、また、映画も古いとはいえ迫力があった、みなさんが熱心に見入っている姿が印象的でした。

つづいて定時総会に入り、まず大西支部長（9期）より「山高が数年後には、進学校として、また、文武両道の伝統校として復活する」という荒井前校長からのメッセージの紹介等があり、伊勢からの来賓である橋本同窓会副会長（17期）、新任の中谷学校長、森下伊勢市長からの挨拶と続き、最後に、早川事務局長（10期）が議長になって事業報告、会計報告がなされたが、いずれも満場一致で承認されました。

懇親会は、最年長の松本三男さん（中46期）の若々しいご発声による乾杯で開宴、中村 稔・山商同窓会東京支部長、岩本愛吉・伊勢高同窓会関東支部会長、そして恩師の世古明先生（3期、英語、バレーボール部顧問）に挨拶をいただきました。さて、アトラクションの目玉は、シャンソン歌手の岸本悟明氏に特別出演していただいたことで、いつもお世話になる小林秀雄さん（中50期）のピアノとの名コンビで、大いに会場をわかせてくれました。また、エレキギターの山崎博史さん（5期）、

タップダンスの村上蘭子さん（44期）、ソリストの曾我規巳夫さん（24期）も、それぞれ巧みな技を披露されました。初参加の来賓から「こんな楽しい同窓会は初めて」との声もあつたようです。

お開きが近づき、恒例の卒業年次別・記念撮影と山中・山女・山高の三校校歌の斉唱となり、最後に平松重宏さん（9期・元応援団長）の現役に劣らぬ見事なエールで締めとなりました。

その後は、希望者による二次会となり、用意された地下のカラオケルームへと移動。

なお、本年も来る6月6日（日）東京プリンスホテル「プロビデンスホール」（港区芝公園・最寄り地地下鉄三田線「御成門」下車）において東京支部同窓会が開催されます。また、春、秋の年2回「山高歩こう会」を開催、都内等を散策しており若い世代の参加も年々増えてきています。お気軽にご参加ください。

連絡先 東京支部事務局

TEL & FAX
048・734・1312
事務局 早川仁也まで

名古屋支部報告

事務局長 齋藤 友彦

名古屋支部は第15回総会を、平成21年4月19日に名古屋市中区の名古屋国際ホテルで開催致しました。

恩師は富内英一先生と西山辰雄先生、山高から中谷校長先生、増田教

頭先生、今回は伊勢市長にもご出席頂きました。

同窓会本部、東京・大阪・北勢支部からのご出席、また遠方よりも多数の方にお越し頂き、出席者74名となり盛大に開催することができました。総会に続き、懇親会では二胡とピアノの演奏を楽しんで頂きました。至らぬことも多くあったことと思いますが、皆様のお陰を持ちまして無事終了いたしましたことを感謝申し上げます。

現在、定期的に会合をもち、第16回総会（平成23年4月開催予定）の準備に、事務局一同努力している次第です。

※愛知県・岐阜県在住の山高卒業生でお時間のある方は、是非事務局のお手伝いをお願いしたいので、事務局まで連絡をお願いしております。

連絡先 090・2348・1691
名古屋支部事務局 齋藤友彦まで

北勢支部

事務局長 江崎 隆夫

北勢支部の総会は隔年開催で本年（平成22年）はその年となっています。第10回山高同窓会北勢支部の総会と懇親会の開催にあたり現在支部幹事打ち合わせ会合を持ち準備中でございます。

今回は幹事改選の総会となります。総会で承認頂き、幹事役員の若返りをして参加者の増員につながればと祈念しております。我が支部の若返り？と申し上げていますが70歳代

（10期）より60歳代（20期）への段階的な若返りでございます。

現実的な話で恐縮ですが、経費の関係で前回欠けハガキをお送りし、お返事のなかった方（約25%）には今回はハガキを送付いたしません。が、案内状の有無にかかわらず、お誘い合わせご参加下さい。県内、県外よりのご参加も大歓迎です。お待ちしております。

この会が会員各位のご理解を頂く様にご支援・ご指導を頂き、ますます隆盛し皆様に喜ばれる会にしていきたいと思っております。今後共ご協力を宜しくお願い致します。

開催日時 平成22年11月7日
場所 四日市シティホテルを予定しています。

支部長 大西和雄（10期）
副支部長 織田啓子（11期）
事務局 江崎隆夫（13期）
連絡先 〒512・0911 四日市市生桑町2007・45江崎宅内
TEL 059・333・5811

松南会

湊 キミ

松南会は十一月五日（木）、神宮会館で総会を終えました。折しも宇治橋は渡始式をすませ紅葉の美しい時期で、人数は若干減少してはいますが、それでも一〇〇名の会員が元氣な顔を揃えました。恒例の総会を淡々と続けてゆけることが、松南会の喜びであり、誇りともなっています。池田同窓会長、中谷

通信欄

百十周年事業への提言 母校の歴史を正しく伝えて

齋藤 裕



「東京・二期会」の幹事を引き受けてから30年。この間ずっと感じてきたのが、私たちの学年は、戦後の学制改革に振り回された最大の「被害者」だということ。現在の宇治山田高校は、米軍の占領政策の一環として、1948年5月に旧制の山中と山女が合併・発足しました。ところが50年3月に私たちの学年が卒業するまでの経緯は、山高の歴史の中で曖昧なままになっています。公式な記録である「山高九十年史」を見ても、45年に旧制山中と山女、46年と47年に山女に入学した人たちの、個人の思い出が寄稿されているだけで、詳しい記録は記載されてい

ません。「百周年」記念の会員名簿には、私たちの「山高二期」生が、河崎・高倉・明野の3校舎別に掲載されていますが、この学年だけが3校舎に別れた理由は一切記されていません。

私たち「二期会」の仲間の大部分は、1944年に旧制の山中または山女に入学、48年5月に新制山高の2年生へ移行したのですが、1年後にはさまざまな道を辿ることになりました。旧制山中・山女の卒業証書を買って学業を終えた人。学区制の導入で志摩高や松阪高へ移って卒業した人。それ以前にも旧制山中3年終了、15歳の若さで東京音楽学校へ入学した小林秀雄君のような人もいれば、旧制4年終了で旧制高校または大学予科へ進学した仲間もいます。「二期会」の幹事団の経歴を見ても、加藤聡君は志摩高卒、島崎素子さんは松阪高卒です。同じ山高二期でも、畑源生君は河崎校舎、木村和子さんは高倉校舎、私は山中50期の4年終了と、全くバラバラです。

何故このようなことになったのか？私も最近まで知らなかったのですが、実は宇治山田商業高校など周辺の高校を、全て統合し普通科のほか商業科や工業科も持つ「総合高校」としての山高が、49年度の1年間だけ存在したのが、その理由だそうです。大合併でふくれあがった生徒を、旧制山商の校舎を河崎校舎とするなどして分散したため、同期の仲間が3箇所に分れることになったのです。しかもこの「総合高校」は僅か

1年間、もとの山高や山商に戻ってしまいました。ともに古い歴史を持つ山商と山商が、僅か1年間にせよ同じ校名の学校に統合されていたことなど、知る人は今や殆どいないのではないのでしょうか。

こうした変遷は、全て当時の米軍政当局の指示により否応なく実施されました。1年上から2年下までの学年も、同様に学制改革の影響を受けましたが、私たちの学年ほど極端ではありませんでした。私たちはいわば学制改革の実験材料のモルモットにされたのです。

山高の歴史に、こうした事実が何故明記されていないのか。ある人はこう言っています。「米軍の思いつきで振り回された屈辱の歴史であり、記録するのもおぞましいからだ。」もしそんな理由で、歴史的事実を曖昧にするなら、そのことの方が余程おぞましいと私は思います。

実を言えば、私はこのような文章を書くのに相応しい人間ではありません。新制山高の生徒として環境の激変を体験していないからです。ここに書いたことが全て正確な事実だと、自信をもって断言することも出来ません。

当時の状況を知る人や自ら体験した人たちは、年々少なくなり、記憶も風化しつつあります。110周年に当たって何らかの形で、事実を事実として、舞台裏の話まで含めて、正しく記録しておくことが必要ではないかと提言する次第です。

(山中50期・齋藤 裕)

山中38期 卒寿の同窓会

佐藤 英史

我ら卒寿となり、強運の五名が四月三日、京都の聖護院御殿に泊りし、懐旧の想いに花を咲かせた。関西三八会、第二十一回目の同窓会である。

貧しかった少年時代、青春は戦争に駆りたてられ、戦後は高度成長期を迎えて日々精励努力し、少しは社会の発展に貢献できたものと自負している。近年は後期高齢者となり、そして今、地球温暖化という怪物に嘆いている。想えば長い年月であった。全てが大きく変化した時代に生きてきたことは苦難も多かったが、又、楽しみもあり、悔いのない人生であったことを語り合う一夜となった。翌日は、折柄満開の桜見物を楽しみ、昼食を共にした後、来年の再会を約して解散した。

在校生の皆さんには、これから輝かしい人生が待っているはず、恐らく又、色々と新しい変化があることでしょう。幸せな社会作りのために、力一杯努力し活躍して下さい。そして、楽しい卒寿を迎えられるよう祈っています。

以上



山中47期 同窓会

二〇〇九年
八月九日(土)
於 魚勘



山女23期 みなつき会

田ヶ原 信子

「みなつき会」の名に違わず毎年六月に開かれる同窓会を今回は松阪のフレックスで行いました。昭和十八年入学の多難な女学生時代を過ぎた私達も今や八十才前、出席三十九人と少々淋しい数でしたがきもちはまだ「若く」「顔」はともかく声は若やいで趣味やボランティアなどに出かける元気な人もいて楽しく賑やかな一時でした。毎年開かれた「みなつき会」も前回のアンケートで来年度で幕を閉じることとなり次回の盛会を約して解散しました。

山女十九会同窓会(山女24期)

西山 和子

平成21年6月8日、伊勢市「千の杜」にて開催。55名が集まり楽しい

日時 平成22年4月3日(土) 《雨天順延》

場所 午前10時30分 現地集合
伊勢二見鳥羽ライン

会費 2,000円(当日徴収)
二見浦料金所前

問い合わせ先 長谷川 清
090・1419・1237

山高50期同窓会報告

松田 一真

山高50期生の初めての同窓会が1月3日、伊勢国際ホテルで開かれました。全学年の4割を超える約150人が参加。30歳という人生の節目で久々の再会を喜び合いました。山高突撃取材の映像上映や、先生から人たちのEメールや写真も会場に貼りだし、温かい雰囲気となりました。

生きる場所は違っても、集まれば気持は一つ。皆に等しくプラチナの陽は降りそそいだのでした。



我々は、山高同窓会の名のもとに集った、憂国の烈士である。本年度の活動といたしましては、親交を深めるための会合を中心に、婚活等、生活に密着したものから始め、最終的には世界平和を目指す集団にしていきたいと思います。

幹事

西山 和子
国府千佳子
藤原 鈴子
平松 明美



東京鉾杉会 (山中51期・山女26年・山高3期)

中村 宏

関東地域在住の同期生(山中五一期・山女二六期・山高三期)で若い頃は毎年集まっていたが、近頃はお休みの年が多くなりました。昨年(2010年)は赤坂日枝神社で喜寿の祝いをして、再来年は同



山高18期高倉会

越山 初生

第18期は卒業二十年の同窓会を機に、同期の会「山高高倉会」を結成。山高18期の集い(兼総会)の開催、年に一度の会報「高倉会」の発行を柱に活動してきました。

会報は、恩師、会員の近況報告を主に、会員の親睦を深める場となっています。昨年12月に第23号を発行しました。

ご希望の方は事務局までご連絡下さい。送付させていただきます。

又、有志の方で第4回目のお花見を計画しました。たくさんの方の参加をお待ちしています。

山高

High school Life 2009~2010

NOW!

● 山高祭
9月10日~11日



● 修学旅行
10月18日~20日
長崎・熊本



● クラスマッチ
7月13日~14日



● 体育祭
6月23日



10月7日
記念モノUMENT除幕式



8月9日

● 小阪憲司氏 講演会

「認知症をめぐって」
〜予防・早期発見・ケアなど〜



● 藤田紘一郎氏 講演会

「きれい社会の落とし穴」
〜アートピーからガンまで〜



創立百十周年記念行事



10月7日



● 懇親会

伝統を後世に残すモニュメント



伊勢市船江に山中の寄宿舎のシンボルとして親しまれていたれんが造

りの煙突がそびえ立っていたが、老朽化のため取り壊されました。創立百十周年の節目に合わせ、残存の煙突の赤れんがと保管されていた山中・山女の校門を用いたモニュメントを作ることになりました。校舎横に作られたモニュメントは山中・山女の校門と、残存するれんが約70個で作った煙突、山女の校舎の屋根瓦を取り入れました。雨の中行われた除幕式には、同窓会、職員、生徒会役員など約20名が出席しました。

伝統の上に 甲子園先導役在り

7月28日、日本高校野球連盟と朝日新聞社大阪企画事業部より、本校の中谷洋祐野球部長に電話で連絡が入りました。その内容は8月8日に開幕する第91回全国高等学校野球選手権大会開会式の入場行進先導役を本校野球部主将高橋俊平が務めることに決まったというものでした。夏の甲子園（選手権大会）では数年前から90年に及ぶその歴史を振り返ろうという企画で、入場行進の先導と始球式を歴代の優勝校や出場校の中から選び、現役の主将がその任を努めています。

今年には本校と広島県の国泰寺高校が選ばれたのでした。両校は共に選手権大会の前身である「第1回全国中等学校優勝野球大会（一九一五年）」に出場して以後、全国大会に出場していません。93年の時を超えてこの二校に全国大会の舞台に出る機会を与えて頂いたのです。これには昨年6月27日に本校と国泰寺高校の野球部OB戦が広島市民球場で行われ、新聞等でも話題となったことも影響しています。さて、吉報を受けて驚き、喜んでいた高橋俊平主将でしたが、マスコミの記者会見や何度かの練習を経て、時間と共にその役割の重要さと責任の重さをひしひしと感じていました。そして開会式当日、「伝統を守ってくれた先輩たちのおかげで甲子園を歩ける。」という感謝の気持ちを胸に大観衆の中、立派にその役目を果たしてくれました。彼もまた、宇治山田高校の歴史と伝統に新しい1ページを加えてくれました。

（硬式野球部顧問 森岡 義博）



恩師 山本先生を偲ぶ

藤井 宏司

「やり定」さんの愛称で知られた、恩師・山本定子先生が静かにお亡くなりになりました。山本先生の訃報は昨年11月2日朝、由川昇氏（8期）から知らされた。先生は1日早晩に亡くなられ、今日午後1時から葬儀があるという聞き、参列することにした。身支度をして斎場へ向う車の中で、先生と陸上競技をおした沢山の思い出が走馬燈のように脳裏をめぐった。祭壇にはベルリンオリンピックに出場した際、撮ったやり投げの遺影が飾られており、「みんな元気でやってくるか・・・」と問いかけられているように感じた。

ご承知のとおり山本先生は、一九三六年（昭和11年）にドイツで開催された第11回ベルリンオリンピック夏季大会、女子やり投げで五位入賞の輝かしい成績を納められた、伊勢市（当時は宇治山田市）が生んだ唯一人のオリンピック選手で、山高の先生ということでも有名なことでした。終戦直後の一九四七年（昭和22年）、京都で開催の第一回国民体育大会をはじめ、日本陸上競技選手権など国内、外で活躍され、引退後は日本女子陸上界の重鎮でした。先生は当時、女子やり投げの日本記録保持者でその記録は長年（20年余）破られていなかったはずで、その先生が新制高校創設の一九四八

年（昭和23年）から退職された一九七七年（52年3月）まで、実に30年間の永きに亘り宇治山田高校に在籍され、多くの生徒達に教鞭を執られました。

先生と私の出会いは、一九五一年（昭和26年）、私が宇治山田高校に入学した年の六月頃、突然山本先生から呼び出しを受け「陸上競技のインターハイ県予選があるんで、リレーメンバで走ってくれないか」と声をかけられ、当時入部した硬式野球部にイヤ気が差していたので早速退部届けを出し、陸上部に移った。その年の県予選では、三年生の三人の先輩に混じり400mリレーのメンバーで出場、運よく入賞、リレーで山高が東海大会に初めて出ることに。なり先生も大変喜んでくれました。

しかし、陸上競技部員になったとは云え、陸上競技の本格的な知識や技術面は全く判らず、一から技量はなく、先生のご指導を受けながら練習に励み、走る基本、空中動作などノートに書いて納得し技術を習得しました。安城での東海大会では一次予選で落ち、静岡、愛知勢の強さを知り、私にはよい



経験といい刺激になりました。また、先生には技術面以上に精神面の指導を受けたことを感謝しております。先生は「強くなりたかったら練習を積み重ねるしかない。」そして「ライバルには絶対に負けない自信を持って。これは長い人生にもきっと役に立つ」と云われたことを今も鮮明に覚えております。「敵に勝て」と云わず、「負けるな！」そして「負けない自信を持って」と云うのが先生の理念であったのかも知れません。三年生のインターハイ全国大会（横浜・三沢競技場）では、走幅跳びに出場、踏切が合わない私にスタンドの先生から、助走の第一歩に注意するようにアドバイスを受け、フールを連発せずに助かりました。また、県高校総体では、良き先輩、後輩に恵まれ学校対抗得点で優勝の尾鷲高に僅差

で負けたが、第二位となり、先生からお褒めの言葉をいただいた。この時期以降、女子では向井賀代子さん（旧姓金子）を中心に後輩選手の活躍もあり、男女とも山高陸上部の第一期黄金時代が始まったと云えます。これも一見、喜怒哀楽の激しいように見えた反面、繊細で優しさを持った山本先生とコーチ役の杉田慶子両先生の熱心なご指導の賜と感謝しております。

退職後も山本先生にお会いすると「みんな（競技部の教え子全員）は、どうしてるんやろか」と、いつも我々のことを気遣ってくださり、高校三年間の想い出や現職中から退職後に何回か開いた山高陸上部OB会、特にOB会主催で先生の退職直後、観光文化会館で開いた「謝恩会」、一九九七年（平成9年）の傘寿を祝う「先生を囲む会」は余程、心に残ったようで懐かしそうに語っておられました。先生にご指導頂いた多くの生徒、競技部員達には、それぞれの胸の中に先生との想い出が残っているはずです。いつまでも先生を忘れることはないと思います。

斎場に笙、箏の音が静か流れる中、御霊に櫛を供え、手を合わせる先生が「いつまでも元気で」と語り掛けてくれているようで、それが最後の別れとなりました。「先生、長い間本当に有難うございました。安らかに眠りください」合掌

山高六期（昭和29年卒）

元陸上競技部 藤井宏司

献本リスト

献本者名	書名
奥井 重彦様 (山高10期)	●代数学教科書 ●Choice English Composition ●少年模範文
東村 篤様 (山高19期)	●ロボット進化論 ●小林 宏著 ●ゴムはなぜ伸びる? 伊藤真義著 ●環境汚染で減びないために 坂口謙吾著 ●「もの」から「知財」の時代へ 平塚 三好著 ●科学を選んだ女性たち 松本和子著 ●裁判官は宇宙人 半田亜季子著
新田 徹様 (山高31期)	●Complex-Valued Neural Networks
佐藤 英史様 (山中38期)	●卒業40周年記念誌 ●卒業50周年記念誌 ●卒業60周年記念誌 ●掛軸
中村 正巳様 (山中42期)	●「日葡辞書」に基く名古屋平曲とその復元巻ー (その一、その二、その三)

同窓会では、将来の同窓会文庫開設のために、卒業生の方々の出版されました書物等を寄贈していただきますよう、機会あるごとにお願ひしております。今後ともよろしくお願ひいたします。

大学入試状況

2009年度入試の報告と

2010年度入試の状況

(平成21年3月卒業生の入試状況から)

進路指導部

09年度入試を振り返ってみますと、国公立大学入試に52名(現役49名)が合格しました。現役の合格者数は08年度に比べ+5と増加しました。また、私立大学入試でも同志社5名、立命館14名、関西9名、関西学院8名と関関同立に計36名(現役33名)が合格するなど、難関校に合格者が多数出る結果となりました。さて、本年度の入試状況ですが、センター試験志願者数は全国で553,368人となっており、昨年度に比べ9,387人の増加になっています。志願者の内訳は、現役生が440,148人、既卒生106,653人、高校卒業程度認定試験の合格者6,567人となっており、今春高校などの卒業予定者のうち、どれくらいが志願したかを示す「現役志願率」は41.0%で過去最高になっています。系統別の志願動向では、資格取得等が可能な「教員養成系」「農林水産系」「看護・医療系」の人数が高くなっています。ノーベル賞の結果や人気テレビドラマの影響もあるのではないかと考えられます。また、昨年度から続く不況のため、昨年度以上に「安・近・少」の傾向が強まり、地元の国公立大学へ

平成21年3月卒業生入試状況

国立大学	私立大学	私立大学	私立大学	短期大学
横浜国大 1	駒澤 1	金城学院 3	京都学園 1	名古屋短大 1
静岡 3	芝浦工業 2	中京 21	京都女子 1	名古屋女子短大 4
信州 2	創価 2	中京女子 1	京都薬科 2	鈴鹿短大 1
三重 22	拓殖 2	中部 5	京都精華 1	高田短大 1
鳥取 3	帝京 4	名古屋外国語 6	京都橘 6	三重中京大短大 2
愛媛 1	東京経済 1	名古屋経済 1	龍谷 6	京都女子大短大 1
高知 1	東洋 4	名古屋芸術 2	佛教 13	近畿大短大部 1
計 33	日本 2	名古屋商科 8	近畿 14	計 42
公立大学	明治 3	名古屋女子 7	阪南 1	専門学校・各種学校
千葉県立保健医 1	東京都市 2	藤田保健衛生 4	桃山学院 4	日本リハビリテーション 1
新潟県立 1	武蔵野音楽 1	南山 18	関西 9	東海医療技術 1
都留文科 4	早稲田 1	日本福祉 11	関西医療 1	伊勢保健衛生 1
愛知県立芸術 1	麻布 1	名城 15	関西学院 9	三重県立公衆衛生 1
名古屋市立 2	神奈川 3	愛知みずほ 2	甲南 1	三重中央医療看護 9
三重県立看護 6	山梨学院 1	東海学園 1	甲南女子 2	三重県厚生連 1
滋賀県立 1	岐阜聖徳 1	豊橋創造 1	神戸国際 1	ユマニテク看護 1
大阪府立 1	岐阜医療科学 1	愛知工科 2	畿央 1	三重看護学院 1
大阪府立 1	日本赤十字豊田 2	皇學館 62	岡山理科 2	松阪看護 1
広島市立 1	星城 1	鈴鹿医療科学 10	計 375	大阪大成歯科 1
計 19	名古屋学芸 5	四日市看護医療 10	短期大学	
私立大学	愛知 9	同志社 5	静岡県立大短大 1	
尚美 1	愛知学院 10	同志社女子 2	三重短大 27	その他 21
青山学院 1	愛知工業 1	立命館 14	有明教育芸術短大 1	計 39
桜美林 1	愛知淑徳 1	京都外国語 7	山野美容芸術短大 1	
北里 1	愛知学泉 1	京都産業 16	中日本自動車短大 1	

の志望が大幅に増加しています。推薦入試、センター試験が終わり、これから入試本番を迎えますが、本年度、本校では国公立大学「AO入試、推薦入試」において既に14名が

合格(うち三重大5名)しています。3月8日の国公立後期試験まで、山高生のねばり強さを発揮し、今年度も好結果をもたらしてくれるものと期待しているところです。

ホームページを活用いただいていますか?

是非、ご覧下さい。http://www.yamako.org

110周年おめでとうございます。同窓会のホームページは、100周年記念事業の一環として、同窓会会員同士の交流の場として、平成10年に立ち上げられました。その後、より親しみやすく、活用しやすいサイトになるよう、平成14年、平成20年にリニューアルを行いました。また、その運営を担当している情報委員会の活動も、当初は、1ヶ月に一度、現在は、2ヶ月に一度、多忙な中、委員の皆さんに集まっていただき、委員会を開催しています。委員として、同窓会のホームページの運営に興味のある方は、是非、事務局までご連絡ください。

ホームページは、会員の皆さんよりの情報提供がなくては成り立ちません。同窓会活動の案内、同窓生の活動の案内(展示会、コンサートの開催、著書の案内など)、同期会開催の連絡、開催後の感想や会員の近況(個人の活動を含む)などを、同窓会事務局(e-mail:info@yamako.org)までご連絡をお願いします。

このサイトを通じて、会員の皆さんの情報を広く提供し、よりよい交流を願っております。なお、卒業期

全体の同期会を開催される場合は、各期会員のタックシール作製をサポートしております。各期代表を通じて本部事務局にご連絡ください。(ホームページから申込書をプリントできます。)

また、現在、同窓会ホームページ上に協賛企業の掲載を行っております。企業を経営(勤務)している方、お店を経営されている会員の皆様が、会社やお店のご紹介、求人情報、同窓会会員だけの特典などさまざまな情報を発信していただく場としてご活用いただいております。まだ、ご活用いただいている皆様には是非この機会にご検討ください。年間掲載料は、2万円です。詳細は、こちらをご覧ください。

http://www.yamako.org/kigyopage/boshu.html

ご存知の方も多いと思いますが、ホームページから同窓会協力金・協賛企業協力金のカード決済ができるようになっています。金融機関に出かけなくても協力金の支払いができ便利です。今後ともご協力、ご利用をお願いします。

http://www.yamako.org/card/index.html



平成21年度同窓会総会&平成22年度同窓会総会のお知らせ

平成21年8月9日(日)、伊勢観光文化会館において創立百十周年記念総会が開催されました。総会に先立って恒例の記念講演が小阪憲司氏(山高10期)を講師として行われました。今、大きな社会問題になっていて本来なら医学的にも非常に難解なテーマである「アルツハイマー病」や、先生の発見された「レビー小体型認知症」に関することを具体的な例を交えながらのお話は私たちにも大変わかりやすいものでした。もう少し聴きたかったという声も多くありました。

総会では池田六太郎会長(山高19期)の百十周年記念事業の挨拶に始まり、議事は全ての議案が滞りなく承認され、総会は終了しました。

懇親会においては、恒例のプラチナ合唱団の歌、参加者最高齢の中西衛三氏(山中36期)による乾杯の御発声により懇談となりました。今年度は新しい試みとして、なつかしい映像上映、大抽選会が行われ好評を得ました。

21年度
総会の様子



最後に山中、山女、山高それぞれの校歌を声高らかに歌い閉会となりました。



平成22年度同窓会総会のお知らせ

日時 平成22年8月8日(日) AM10:00 受付
会場 伊勢観光文化会館 (近鉄宇治山田駅前)
記念講演 10:30 ~ 11:30
演題 「ミニ姫路城と私
 - 男のロマンとつきあった19年 -」
講師 井村郁子(山高11期)
講演の要旨 400年前の姫路城を伊勢の地に23分の1で再現した男のロマン。城完成までをテレビの映像と共に19年のおもいを語る。

講師略歴

昭和34年 宇治山田高校卒業(山高11期)
 同4月 県職員に採用
 県立学校、教育事務所等勤務
 平成13年 県立高等学校事務長退職

総会 11:35 ~ 12:00
懇親会 12:15 ~ 15:00

※平成22年度の招待期は山高11期・山高59・60期です。招待期の方々には、今夏に招待ハガキを発送します。招待期以外の皆さんも是非ご参加下さい。(なお、招待期以外の方の懇親会費は3,000円となっております。)

編集後記

昨年11月8日、創立百十周年を記念して宇治山田中学校の校門及び寄宿舎の煙突の一部と宇治山田高等女学校の校門及び校舎の屋根瓦を用いたミニチュメントが設置されました。毎日その前を通る生徒たちも、何なのか、あるいは周囲の木々に隠れて、その存在さえ気づかれることなく、ひっそりと建っていた山中・山女の校門。それらが今では山高の歴史と伝統を示すシンボルとして存在しています。

現在ではミニチュメントの前の花壇も整備され、色とりどりのパンジーが生徒たちに微笑むように咲いています。春になり、入学式の日には、この記念ミニチュメントの前でポーズをとる親子や新入生の笑顔に出会うことができるでしょう。

同窓会報は会員相互の友好と母校との架け橋としての役割を担っていると考え、同窓会・同窓会各支部の活動並びに同窓生のご活躍の様子を、また現在の山高の様子を、できるだけたくさんお伝えするように努めております。

山高文化部発表会のお知らせ

恒例の第10回文化部発表会(第45回音楽発表会)が平成22年3月20日(土)に伊勢市観光文化会館において催されます。合唱、写真など全国レベルの文化部が一堂に会しての発表会です。入場無料です。是非ともご来場下さい。

展示 開場 12:00 ~ 終了 15:00
演奏会 開場 12:00 ~ 開演 12:30 ~
 参加クラブは次のとおりです。
 合唱部・吹奏楽部・放送部・写真部・美術部・書道部・茶道部・華道部・文芸部・漫画研究部・インターアクト部